種名	**ホ　オ　ジ　ロ** Emberiza　cioides
分類	**スズメ目ホオジロ科**
特徴	**梢でさえずり、丘陵地に春を告げる茶色い小鳥。留鳥として北海道から屋久島までの全国で多数繁殖する。多雪地のものは冬期は暖地に移動する。国外ではユーラシア大陸の中央部から東部の、主な温帯域に棲息する。**
生活	**平地から山地の明るい林のへり、ススキ草原、低木のある川原などに棲息し、茂った林の中には入らず、また広い草原の中央に出ることもない。地上をはね歩いて、地表におちているイネ科植物などの小さな実を三角形の〈ちばしで巧みに拾って食べる。繁殖期には動物食になり、雛に運ぶ餌のほとんどは昆虫類である。成鳥は越冬期も同じ縄張りに留まることが多いが、若鳥や北方から渡ってきたものは小群で行動している。**
声	**繁殖期には春早〈からさえずり始める。木の梢や枝先にとまって「チョッピーチチロ、ピピロピィー」などと聞かれる、澄んだ声でさえずる。これを「一筆啓上、仕り候」とか「源平つつじ、茶つつじ」などと聞きなしている。地鳴きは「チチッ」とか「ツツッ」と聞かれ、2音ずつ続けて鳴〈ことが多い。**
見分け方	**下面と腰の赤茶色。顔の黒白模様。**
時期：寒地 ：暖地	(月)　－　－　－　4　5　6　7　8　9　10　11　－ (月)　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　11　12
その他	**産卵期：4月～7月** **全長 (L) 17cm　翼開長 (W) 24cm**

参考文献：山渓カラー名鑑　日本の野鳥